

(結果) 2024 年度入社 新入社員対象アンケート

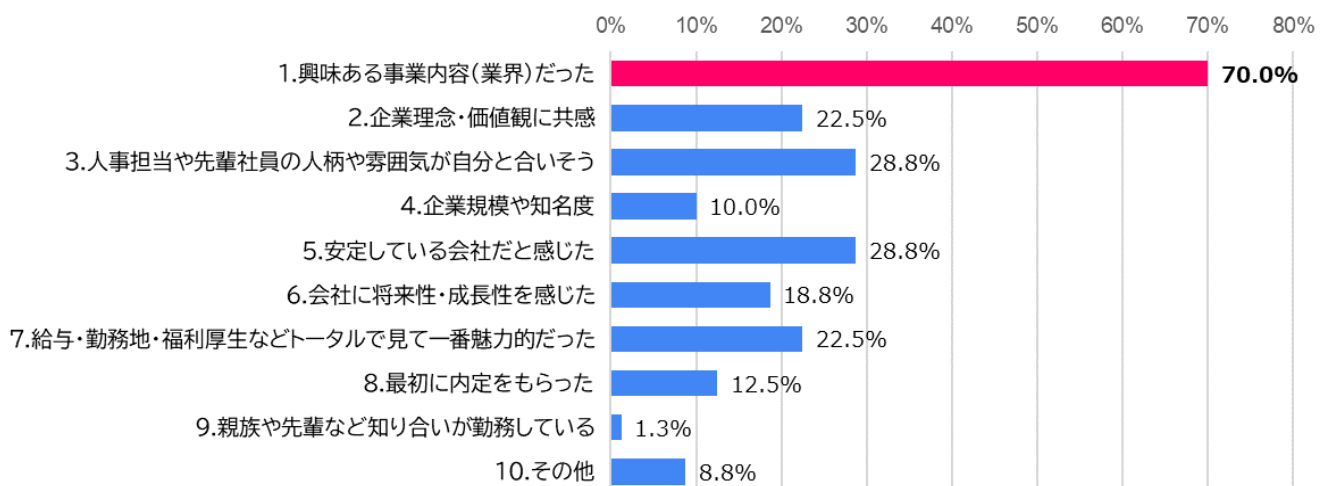
対象とねらい	当本部主催・フレッシュマンセミナーの参加者を対象に、入社決め手や自身が考える強みや弱みなど新入社員の意識調査を行った。(本調査は今年度初めて実施)
期間と回答方法	フレッシュマンセミナー受講時に回答 4/2.3、4/4.5 の4日間
回答数	80名/参加者87名中 (回答率92.0%)
調査項目	<p>Q1 入社された会社に決めた理由を教えてください。(複数回答可)</p> <p>Q2 これから会社で働くうえで、ご自身の【強み】だと思ふものを3つ選んでください。</p> <p>Q3 これから会社で働くうえで、ご自身の【弱み】だと思ふものを3つ選んでください。</p> <p>Q4 これから様々な先輩や上司とともに仕事をしますが、あなたが考える理想の先輩・上司は、著名人(タレント・俳優・政治家・文化人・スポーツ選手等)で例えると誰ですか？(自由筆記)</p> <p>Q5 Q4でその方を選んだ理由(その方に持つイメージ)を教えてください。(自由筆記)</p> <p>Q6 これから働くうえで、今感じている不安があれば、どんなことを不安に感じているのかご記入ください。(自由筆記)</p>

【調査概要】

- ・入社決め手「興味ある事業内容(業界)」と回答が7割。売り手市場がうかがえる結果に。
- ・自身の【強み】に「協調性」を、自身の【弱み】に「伝える力(プレゼン力)」をあげる人が一番多かった。
- ・理想の上司、最多票は「大谷翔平」選手。色々な分野の方の名前があがったが、選んだ理由は、「目標に向かって努力し続けているので尊敬できる」「面倒見が良さそう」「甘やかすだけでなく指導すべきところはしっかりとってくれそう」など。
- ・今感じている不安の第1位は、「職場の人間関係(先輩・上司とのコミュニケーション含む)」。

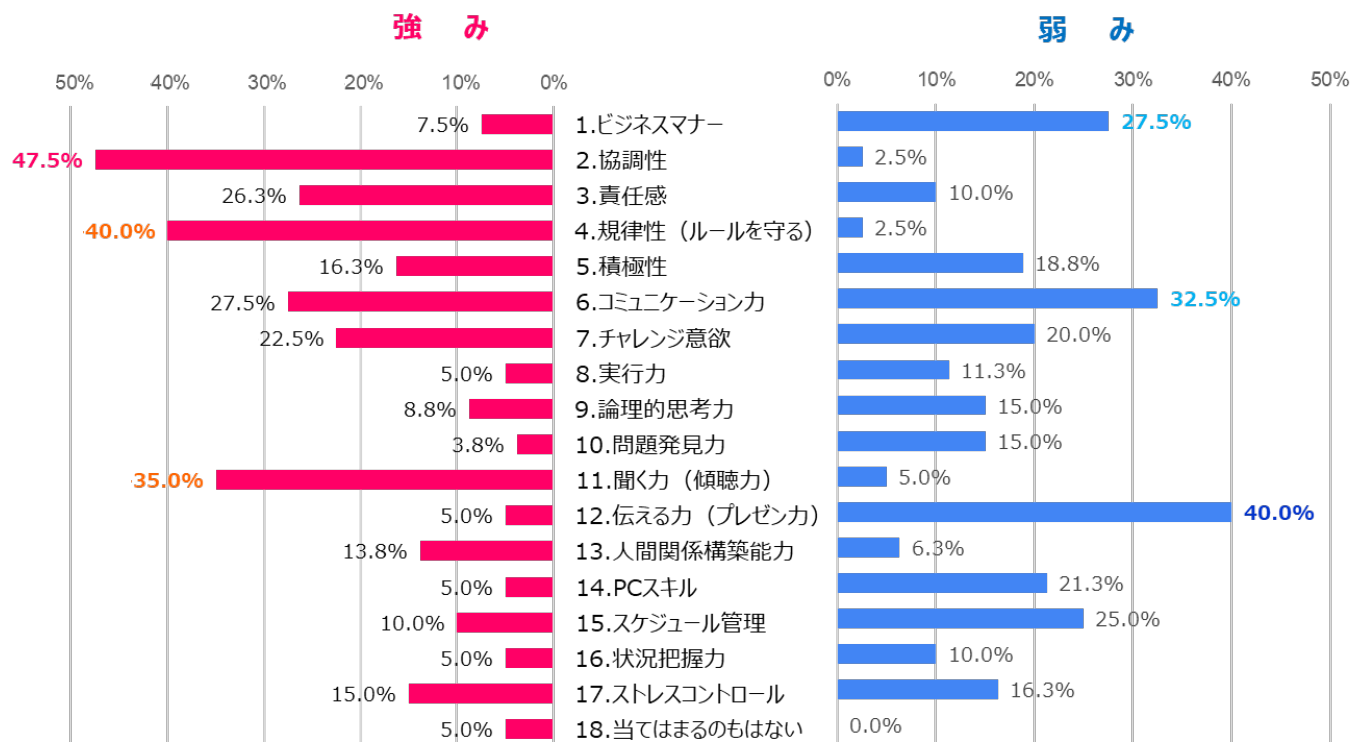
Q1 入社された会社に決めた理由を教えてください。(複数回答可)

「興味ある事業内容(業界)だった」が1位。自身が希望する会社(業界)へ就職できた人が多いことがうかがえる。一方、「企業規模や知名度」は10%にとどまり、働きたい業種であれば、規模や知名度はそれほど重要視していない結果となった。



Q2・Q3 これから会社で働くうえでの、ご自身の【強み】と【弱み】を教えてください。
 (強み、弱みそれぞれ最大3項目まで選択可)

自身の【強み】1位は「協調性」で、「規律性(ルールを守る)」「聞く力(傾聴力)」と続いた。
 自身の【弱み】1位は「伝える力(プレゼン力)」で、「コミュニケーション力」「ビジネスマナー」と続いた。
 【弱み】の2位となった「コミュニケーション力」は、弱みと感じる人が32.5%いる一方、強みにあげる人が27.5%おり、二極化する結果となった。
 コロナ禍、講義や課題提出をオンラインで受け、PCに慣れていていると思っていた世代だが、「PCスキル」が弱みと回答した人が約2割いた。スマホを使う機会は多いが、PC 操作となると苦手意識を持つ方が一定数いることがわかった。



Q4 これから様々な先輩や上司とともに仕事をしますが、あなたが考える理想の先輩・上司は、著名人(タレント・俳優・政治家・文化人・スポーツ選手等)で例えると誰ですか？お1人の名前を挙げてください。

「大谷翔平」氏がダントツの1位。次いで、「内村光良」氏が2位、「明石家さんま、天海祐希、アンミカ」氏が同率3位となった。
 その他、アーティストや俳優、アイドル、ユーチューバー、政治家などたくさんの分野から名前が挙がったが、アニメの有名キャラクターを挙げる方も数名おり、著名人として考える時に実在する人物という固定観念がないという印象も受けた。

1位	大谷 翔平(17票)
2位	内村 光良(4票)
3位	明石家 さんま 天海 祐希 アンミカ (各3票)

(50音順)

Q5 Q4 でその方を選んだ理由(その方に持つイメージ)を教えてください。

<共通した理由の上位5つは以下のとおり>

- ・目標に向かって努力し続けているので尊敬できる
- ・面倒見がよさそう (しっかりと教えてくれそう、失敗しても見捨てなさそう)
- ・甘やかすだけでなく指導すべきところはしっかりと伝えてくれそう
- ・誠実で優しくそう
- ・ポジティブな印象で話しかけやすそう

Q6 これから働くうえで、今感じている不安があれば、どんなことを不安に感じているのかご記入ください。

「人間関係(先輩・上司とうまくコミュニケーションがとれるか)」が1位で約6割の方が不安にあげた。次いで「会社の期待に応えられるか」という回答も多く、貢献意欲が高いことがうかがえる。一方、「初めての一人暮らしが不安」「失敗した時のメンタルケア(ストレスコントロール)」と回答した方もおり、生活面に関する不安も目に留まった。「仕事を上手くやれるか」「自分のミスで会社に迷惑をかけないか」「現場についていけるか」などミスを恐れる回答も約3割。「不安はない」「楽観的なので心配はあまりなく楽しみの方が大きい」とポジティブな回答は2名のみ。

フレッシュマンセミナーをご指導いただいた クラロ 代表の柳田由紀枝講師にも、今年の新入社員の印象と育成をするうえで気をつけたい点をうかがった。

今年の新入社員は、指摘をするとすぐに間違い箇所気づき修正した対応ができる、不明な箇所はすぐに質問してくるなど、地頭が良い部分と成長欲求の高さを感じた。実践演習ではメンバー同士でお互いにサポートし合い、コミュニケーション力や周りへの気配りと協調性も発揮していた。しかし、これは同年代間のコミュニケーションでの話で、社外の方や上司とのコミュニケーションとなると不安を口にする人が多い。この不安は学生生活をコロナ禍で多くの制限の中で過ごしたこともあり、外部との関わりの不足や経験不足からきているのだと感じる。

冒頭に「新入社員としての期待・不安や悩み」を尋ねたところ、期待では「貢献できる人になりたい」「会社でいろんなことを覚えたい」と貢献意欲・成長意欲を感じる意見が多かった一方、不安や悩みは「失敗したくない」が一番多い意見だった。

コミュニケーション力が高く状況を見る力に長けている、成長意欲が高いが失敗したくない今年の新入社員の育成には、「より具体的な説明とより丁寧なフォロー」が育成のキーワードとなりそうである。

例えば、指示する際は、目的やその理由も含めて丁寧に伝え、報告・相談のタイミングについても決めておく。もし失敗しても、失敗で終わらせず最後までやってもらうことで責任感と達成感を感じさせ、褒めるだけでなくしっかりと改善点も伝える、などが上司への信頼感と成長意欲を促すポイントとなると感じた。

※今回のアンケート結果は当本部HPでもご覧いただけます。

九州生産性本部 「報告・機関紙」ページ

<本件に関するお問い合わせ先>

(公財)九州生産性本部 総務広報グループ 三小田・中尾 さん こだ TEL:092-771-6481